

2018年4月2日

各位

2018年度入社式 社長挨拶（要旨）

皆さん、おはようございます。入社誠におめでとうございます。

新たに46名の仲間を当社にお迎えできることを大変うれしく思います。

本日、社会人としての第一歩を踏み出す皆さんに、社長として、社会人の先輩として、心がけて欲しいことを3つお話します。

一つ目は、「誠実」ということです。当社グループは社風、企業風土として「誠実に、愚直に」を大事にしている会社です。私たちは化学会社に勤める者として、技術系・事務系を問わず、サイエンス、ケミカルに係わって仕事をしています。サイエンス、ケミカルは自然法則の上に成り立っています。自然法則は手を抜くと必ずほころびが出るものです。絶対にごまかしが効きません。

このことを常に念頭に置き、コンプライアンス、法令遵守を始めとして、企業人としての高い倫理性を持つことは当然ですが、誠実に、愚直に、一生懸命取り組むことでしか成果を得ることができない、ということをお心に銘じて頂きたいと思います。

二つ目は、「変化は進化」という言葉です。

この言葉は私の入社以来の信念でもあります。

企業は変革によって成長、発展を遂げるものですが、変革は過去の延長線上にはありません。変革を起こすためには、これまでの変遷そして目の前の仕事に対し、常に疑問を持つこと。皆さんは、大学で定理、定説を学んできましたが、これからは基本的に答えのない世界が待っています。すなわち、定理、定説を疑い、周囲を巻き込みながら、自分自身或いはチームで納得のいく解、仮説を導き出すこと。そのために自らの持つ能力・知恵を最大限に発揮する事が求められます。

皆さんは研修を終えて、5月から配属される部署において、週、月、年単位で繰り返す業務の中には出てきます。この時大事にすべきことは、その業務を何とかして前とは同じようにしないことです。これには多大な労力を要しますが、成し遂げるエネルギーが若い皆さんには必ずあると信じています。初めは失敗しても良いと思います。失敗から何かを会得して、人は進化します。是非、変化を創り出すことに挑戦してください。会社は不思議な組織で、全力で頑張れば必ず誰かが見えています。そして、報われるものです。

そして三つ目は、「仕事を好きになる」ということです。

私は入社して5年目の頃、今の仕事が自分にとって天職か否かで随分悩みました。しかし、考えても分からない。そこで、徹底的に仕事をして、与えられた仕事をとことん面白くしてみようと割り切ることにしました。試行錯誤を繰り返すなかで、ようやく今の仕事こそ天職だと、気づく瞬間がありました。悩みながらやり続けることで、自分の天職、使命とは何かを探す。このプロセスを経験することが大事だと考えます。

プロフェッショナルとアマチュアを区別する能力の1つに、やり抜く力があると思っています。そして、このやり抜く力は、情熱と粘り強さでできており、それを身に付けるためには、まず「仕事と真正面から徹底的に向き合い、好きになること」が必要ではないかと思います。皆さんもこれから真摯に仕事と向き合い、心底仕事を好きになって頂きたい。その結果、やり抜く力が身に付き、高いパフォーマンスが発揮されるはずです。

今年は、7月に本社が日本橋に移転し、商号が「日産化学株式会社」に変わる大きな変化の年になります。私たちは、不確実な時代であるからこそ、決して変化も失敗も恐れることなく挑戦を続け、全員の知を融合し、力を合わせることで、未来を切り拓き、未来を創造していかねばなりません。

最後に改めて、当社グループの仲間として「ともに夢に向かって頑張っていきましょう」という熱い歓迎の気持ちをお伝えして、私の挨拶とします。

本日は入社、誠におめでとうございます。

社長 木下小次郎

本件に関するお問い合わせ先
日産化学工業株式会社 経営企画部 CSR・広報室 (東京都千代田区神田錦町 3-7-1 興和一橋ビル) TEL:03-3296-8320 E-mail: csr_pr@nissanchem.co.jp